

あいち農産物生産流通レポート

平成24年7月号

情報サロン		
・みんなで挑戦！「あいち食育いきいき検定2012」が始まりました！	(食育推進課)	1
地域トピックス		
・豊根村でブルーベリー摘み取りはいかがですか	(新城設楽農林水産事務所)	2
東日本情報		
・「最近のアンテナショップ」	(東京事務所)	3
西日本情報		
・平成23年の地方卸売市場における青果物・花きの流通について	(食育推進課)	5
フラワーページ		
・花き流通情報連絡協議会の活動について	(東京事務所)	7
青 果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		8
・名古屋・東京市場における青果物の7月の見通し		9
花 き		
・切花・鉢花の7月の見通し(県内市場)		21
輸出入		
・主要農産物の輸出入実績(2012年4月)		25
関連指数		26

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6421

みんなで挑戦！

「あいち食育いきいき検定2012」が始まりました！

愛知県では、県民の皆さんに食に関する知識や関心を深めていただくため、インターネットを利用した食育検定「あいち食育いきいき検定2012」を実施しています。

検定の内容

食育に関する20問の問題に、3つの選択肢から解答し、8割以上正解すると「合格」となります。もちろん、受験料は無料です。

栄養バランス、あいちの特産物など、幅広い分野から毎回違った問題が出題され、詳しい解説や得点分析も表示され、楽しみながら食育の知識を深めることができます。

受験コース

「子どもコース」と「一般コース」から選択できます。
(子どもコースは、小学5年～中学生程度を対象とした内容です)

実施期間

【サマーチャレンジ】平成24年6月19日(火)～9月9日(日)
【オータムチャレンジ】9月19日(水)～12月9日(日) (いずれも初日は午前9時より、
【ウインターチャレンジ】12月19日(水)～翌年3月9日(土) 最終日は午後5時まで)

今年度の特徴

スマートフォンでの受験が可能

従来のパソコンだけでなく、スマートフォンでも受験が可能になり、手軽に受験できるようになりました。

新規問題を追加

県民の方が食育に関し楽しんで知識を身につけられるように、食卓の話題になるような各コース50問の問題を新たに追加しました。

合格証の発送、満点(100点)合格者を「食育ネットあいち」に掲載

合格者のうち希望者には「合格証」を発行します(送料は合格者負担)

さらに満点合格者のうち希望者には「食育ネットあいち」で氏名等(またはハンドルネーム)を掲載します。

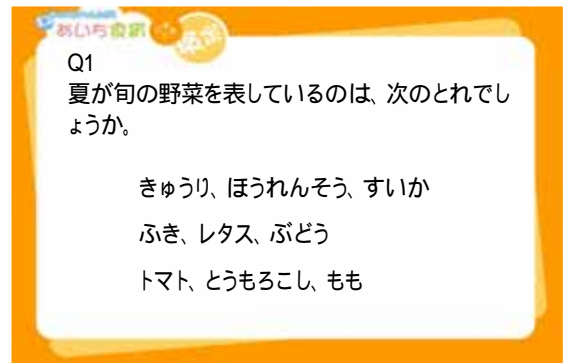
受験方法・・・

愛知県の食育ウェブサイト「食育ネットあいち」にアクセスし、

 (あいち食育いきいき検定)のボタンより、検定案内ページにお進みください。

(食育ネットあいち URL <http://www.pref.aichi.jp/shokuiku/shokuikunet/>)

答え：



例えばこんな問題が出ます。 答えは下に

豊根村でブルーベリー摘み取りはいかがですか

豊根村は、愛知県、長野県、静岡県の県境に位置し、また愛知県最高峰の茶臼山（1,415m）の山麓に広がる自然豊かな景勝地で、近年、茶臼山高原の芝桜を始めとして、多くの観光客の方々が豊根村を訪れています。



豊根村では昭和60年から、ブルーベリーがまだ一般化していない頃に栽培を始めました。当初は果実自体があまり知られていないため、売上は伸び悩んでいましたが、テレビ等で取り上げられるようになり、平成7年度から販売も軌道に乗ってきました。

このため、平成10年からは豊根村と愛知東農協が一体となって、耕作放棄地への植栽のための苗代・土壌改良の資材代の一部補助など、ブルーベリーの産地化に向け「ブルーベリーの里」づくりを開始しました。

生産農家は30戸。栽培面積3 ha。収穫した果実のうち毎年3 t程度を愛知東農協でジャムに加工され、270 g入りビン詰約15,000本が県内で販売されています。

一方で、平成16年からは一般の方を対象とした摘み取り体験も始めました。開園当初は来園者も少なかったのですが、作付面積や摘み取り園農家の増加とともに来園者も年を追う毎に増加してきました。

農家は高原の爽やかな環境の中で、農薬を使わずに栽培することに徹していますので、安全・安心なブルーベリーを食べ放題で楽しめます。

豊根村内9つの農園で摘み取り体験ができます。お早めにご予約ください。

（ご予約は、下記お問合せ先で農家を紹介していただけます。）

是非一度、心身のリフレッシュに豊根村に足を運んでみてはいかがですか。

開園期間：7月～8月

摘み取り体験農園場所：村内9か所の農園

入園料：1名 1,000円 食べ放題

小学生以下 = 500円

3歳以下（保護者同伴） = 無料

〔 お持ち帰り（別料金） ご自身で摘み取ってください 〕

1kg：2,000円 ・ 1パック：350円

【お問合せ先】

豊根村観光協会

電話 0536 - 87 - 2525

午前 8:30～午後5:15

豊根村役場経済土木課

電話 0536 - 85 - 1311

午前 8:30～午後5:15 平日のみ

「最近のアンテナショップ」

いわゆる「アンテナショップ」とは、企業や自治体が消費者の反応を探り、情報を発信するために大都市に開設する店舗のことです。地方自治体が都内にアンテナショップを開設し始めたのは約20年前からで、本格的に注目を集めたのは、1994年に沖縄県が開設した「銀座わしたショップ」まで歴史を遡ることができます。現在では、各自治体が競うかのように出店しており、その数は、本グループ調べによると都内で、47店（35都道府県）、新・まちからむらから館などの全国範囲のものが3店、その他市町村などのショップもあります。出店形式も多様化しており、その地方の名物料理を味わうことのできるレストランなどを併設したものや、コンビニエンスストアの中にコーナーがあるもの、築地市場の場外市場にあるなど多種多様です。そのなかで、特徴的な3つのアンテナショップについて紹介します。

自治体と大学の連携によるアンテナショップ

東京神田にある、自治体と大学の連携によるアンテナショップ「なごみま鮮果」は開店から6年を迎えます。



なごみま鮮果の店舗

ここは、明治大学商学部の学生と三浦市との連携で、東京神田の空き店舗事業を活用して三浦市のアンテナショップとして開設したものです。学生が地域において果たす役割と地域が学生を育てる役割を期待し、学生自身が店舗を運営することによってマーケティングを実践するものであり、同時に三浦市にとっては、市の「シティ・セールス・プロモーション」に一役買っているとのこと。

民営のアンテナショップ

昨年の東日本情報でもお伝えした、東京・有楽町の交通会館（東京都千代田区）に大阪の「浪花のええもん うまいもん 大阪百貨店」は、民間企業（レストランやホテルなどを展開する総合プロデュース業「カトープレジャーグループ」（東京都渋谷区）傘下の株式会社ケー・エクスプレス）発のアンテナショップ、平成23年7月28日（なにわの日）にオープンしました。東京で大阪物産品をこれだけ本格的に扱う店舗は初めてではないかと思われます。



大阪百貨店の店舗



食品業者のアンテナショップ

「東京おかしランド」

自治体絡みのアンテナショップが目につきますが、最近、食品業界でも、アンテナショップを出店する動きが、本格化してきています。

今年4月14日(土)に東京駅の八重洲地下中央口にも、「東京おかしランド」と銘打って、(株)グリコ、森永製菓(株)、(株)カルビーの菓子業界大手の3社一堂に会してのアンテナショップを開設しました。店舗名もそれぞれ「ぐりこ・やKitchen」、「森永のおかしなおかし屋さん」、「Calbee+」と馴染みやすいネーミングで多くのお客さんを集めていました。各店共通して言えることは、店内で作りたてのお菓子を食べられることと、アンテナショップ限定の商品を購入することができることだそうです。



「東京おかしランド」内の「Calbee+」

「カルビー(株)の取組」

その中のカルビー(株)伊藤秀二代表取締役社長兼COOが、先日、6月8日(金)、東京ビッグサイトで開催された2012国際食品工業展(FOOMA)の会場内で行われた講演の中でも、アンテナショップのことにも触れられました。

その概要は「カルビーのこれから」と題した話の中で、「コストリタクション(削減)とイノベーションを基本に、継続的成長と高収益体質をめざします。具体的な活動としては、お台場、東京駅、原宿、千歳空港の4カ所に、直営のアンテナショップを開店させました。厨房で製造する過程を見学しながら、揚げたて「ポテトチップス」、「ポテリこ」他が、アンテナショップで購入できるということで連日、長蛇の列ができています。はじめは、PRのつもりで出店しましたが、それ自体でも利益を出すようになり、ひとつのビジネスモデルとして確立しつつあります。」と予想以上の反響に今後も、各都市に同じようなアンテナショップを開設していくとのことでした。



社長講演の様子

このような動きを今後とも注視し、農業分野での情報発信、消費者の反応把握の効率的な手法、さらには6次産業化へ向けてのヒントなどの情報提供に努めたいと思います。

平成23年の地方卸売市場における青果物・花きの流通について

1 県内地方卸売市場の平成23年(1~12月)の取扱状況 青果物の取扱状況及び生育状況

単価と取扱量

23年は低温や台風の影響などにより、取扱数量は平年をかなり下回ったが、単価はやや上回った。

東日本大震災の影響で、外食やイベント等の自粛があり、業務筋の需要が低下し、野菜全般の単価が落ち込んだ。

5月は台風等の影響による入荷減により単価は平年並みとなった。6~8月の入荷量は少なく、単価高。9月は台風及び低温の影響で入荷減、単価高となった。10月は中旬から好天で入荷増、単価減。12月は葉菜類の入荷減により、単価高となった。

生育・産地状況

年明け以降、低温、干ばつが続き、露地野菜を中心に生育が遅れ、出荷物は小玉傾向が続いた。GW明けからはまとまった降雨と気温の上昇により生育が回復するも、5月下旬から6月上中旬には天候不順、低温により野菜全般の生育が遅れた。

7月上旬に梅雨明けし、高温となったが、朝夕は低温であり果菜類は着色不足や小玉傾向。8月は盆前までの降雨が多く、その後高温だった。結果曇天の影響で果菜類に着色不足が見られた。9月は2度の台風と下旬の低温により、生育遅れや入荷の遅れ、品質の低下がみられた。10月中旬からは気温の高い日が続く、生育が回復した。11月は好天と適度な降雨があったが、12月は低温、干ばつの影響で露地の葉菜類を中心に生育が遅れた。

『変動の幅を表す用語』

並み : ±2%未満

わずか : ±2%台

やや : ±3~5%台

かなり : ±6~15%台

大幅 : ±16%以上

(2) 花きの取扱状況

単価と取扱量

景気低迷の影響に伴う需要量の減少等により、取扱数量は平年をかなり下回ったが、単価はわずかに上回った。

景気低迷に加え、東日本大震災による自粛ムードにより、3月下旬~4月にかけて単価の低迷があった。輸入切り花についても、22年に比較して、数量は同程度であるが、金額は減少している。

生育・産地状況

花き全体として、景気低迷の影響により、生産者数の減少傾向は続いている。また、近年、キャベツやトマト類の単価が安定しており、花と野菜の複合経営の生産者が経営を野菜にシフトする傾向が見られる。

重油高騰の影響は、特に加温温度が高い観葉植物の全般、ばら、きく及び洋らんの一部に大きいと考えられる。夏期は22年のような高温ではなかったため、高温を原因とする生育障害(きくや一部の鉢花)等はあまり無かったと考えられる。

2 県内地方卸売市場における取扱実績

平成23年(1~12月)の取扱実績

品目	年次 (対比)	取扱数量 (トン、千本、千鉢)	取扱金額 (百万円)	単価 (円/kg、円/本又は鉢)
青果	平年(18~22)	272,896	54,381	199
	22	249,325	54,264	218
	23	240,800	49,563	206
	前年比	96.6%	91.3%	94.6%
	平年比	88.2%	91.1%	103.3%
花き	平年(18~22)	386,323	30,078	78
	22	335,718	27,169	81
	23	335,099	26,632	79
	前年比	99.8%	98.0%	98.2%
	平年比	86.7%	88.5%	102.1%

花き流通情報連絡協議会の活動について

花き流通情報連絡協議会（以下「花き協」という。）は、花きの生産及び流通に関する情報収集とその交換を行い、花き生産振興を推進するために、在京都道府県、農業団体を会員として組織され、また、都内の7卸売会社を賛助会員として運営しています。主に花き協では、年5回の生産・販売状況等についての情報交換会や講習会、花き消費拡大イベント、視察研修会等を行っています。

情報交換会

物日の前月に開催され、例年4月（母の日需要）、7月（盆需要）、8月（9月彼岸需要）、11月（クリスマス、年末需要）、2月（3月彼岸需要）に行われます。会員県からは、産地情報が提供され、卸売会社からは、販売状況や国内産と輸入品との比較など産地に向け、厳しい意見が出されます。

講習会

昨年度は、（株）大田花きの磯村社長から「今年の花き業界を占う」と題して講演会がありました。

花き消費拡大イベント

東京ビッグサイトでの第50回実りのフェスティバル東日本大震災復興支援コーナーにて、トルコギキョウ、ストック花束の配布とチャリティ募金を行い花きのPRを行いました。

視察研修会

毎年、幅広く花き生産技術、生産出荷、販売についての情報収集、知見を得るために視察研修会を行っています。今年度は6月に行われ、2カ所の研究施設を訪れました。北海道立総合研究機構花・野菜技術センターでは、デルフィニウムの花落ちと地中熱交換システムでの適応性の研究、ホクレン農業総合研究所では、スターチスシヌアータの品種開発やトルコギキョウの品種比較試験等を視察し、花き生産についての研修が行われました。

今後も花き協を通じて様々な産地情報を提供して行きたいと思っております。



情報交換会の様子



ホクレン農業研究所のスターチス品種開発の様子

愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋市中央卸売市場（品目：アールスメロン）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
23年実績	2580	516 (20%)	600	500	静岡 (50%) 熊本 (20%) 高知 (8%)
24年見通し	2400	-	600	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>県内の主な産地は豊橋、JAひまわり。生育は今のところ順調。台風4号の被害は静岡では大きかったが、県内はさほどない。昨年より小玉なのでサイズはM、Lが増加する傾向。入荷量は年々減少傾向にある。価格の変化は小さい見込み。入荷量はかなり前年を下回り、価格は前年並みの見込み。</p>			<p>全国的に作付面積は減少傾向にある。品種は産地ごとに様々であり、大きな変化は見られない。嗜好の変化はない。販売促進の為に、まずは食べたもらうように商品の状態の表示（かため、やわらかめ等）やPRの強化等、販売方法の工夫をするべき。産地には気温や日照に注意してもらいたい。</p>		

東京都中央卸売市場（とうがん）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
23年実績	721	211 (29%)	153	194	神奈川 (30%) 静岡 (17%) 茨城 (12%)
24年見通し	730	-	150	-	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>沖縄産が現況昨年よりの残量があるが、まもなく終了。愛知、神奈川、静岡などが出荷の中心となる。本県産の出荷開始は6月上旬で、本格的な出荷は6月中旬から、ハウスもののピークは6月下旬にあり、露地もののピークは8月お盆前と予想される。現況、玉のできている物については生育は順調で、台風4号の影響は8月出荷以降のものに出るとの予想あり。全体の入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並の見込み。</p>			<p>ここ数年、需要増加のためには、料理方法の提案などを量販店等で積極的に行っていることもあり一般家庭での認知度も向上しているように思えるがさらに、サラダでの消費等の提案が必要である。毎年のことだが、出荷時における若採りと表皮の粗毛除去を励行し、形や色を揃えるなど高品質の保持に努めて欲しい。また、何と云っても、安定的な出荷をお願いしたい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の7月の見通し

名古屋市中央卸売市場

6月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	19年	32,946	208	191	210	220	長野 26%
	20年	34,757	184	203	193	159	愛知 12%
	21年	30,896	201	194	211	199	北海道 11%
	22年	30,577	229	221	236	232	群馬 9%
	23年	29,792	219	230	222	210	
	5カ年平均	31,794	208	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し		29,600	214	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は長野、愛知中心。葉菜類が多く入荷の見込み。キャベツ、きゅうり、だいこん、トマトの新規農家が増加。トマトの需要が増加。低温の影響で入荷量が少なく価格が上昇するものがある。 入荷量は前年並みで、価格は前年をわずかに下回る見込み。							
だいこん	19年	2,208	78	64	87	82	青森 44%
	20年	2,139	64	70	62	59	北海道 42%
	21年	1,982	83	86	83	81	岐阜 11%
	22年	1,664	90	80	105	90	長野 3%
	23年	1,688	95	94	98	99	
	5カ年平均	1,936	81	78	86	81	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し		1,800	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は青森、北海道中心。両産地ともに低温及び雪の残りの影響を受け、作業が遅れている。6月中旬から走りが出始め、7月上旬より本格的に入荷する見込み。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							
にんじん	19年	1,951	115	120	112	114	青森 54%
	20年	2,025	113	164	107	74	北海道 44%
	21年	1,721	148	135	149	159	中国 1%
	22年	1,526	203	199	201	208	茨城 1%
	23年	1,785	117	141	110	107	
	5カ年平均	1,802	136	150	133	128	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し		1,600	150	200	160	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は青森、北海道中心。両生産地ともに低温及び雪の残りの影響を受け、生育が2週間ほど例年より遅れている。7月下旬に向けて入荷量は増加し、下旬は前年を上回る入荷がある見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

6月23日 現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	19年	123,499	230	206	234	247	長野 14%
	20年	132,422	202	229	199	180	群馬 14%
	21年	126,213	219	216	222	220	茨城 12%
	22年	122,704	237	226	245	242	青森 9%
	23年	118,688	238	250	237	228	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	124,705	225	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し	119,000	235	-	-	-		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
群馬、長野の高冷地と東北産地からの入荷が本格化する時期となる。各品目とも春先からの低温の影響を受け遅れ気味だったものも回復傾向にあるが、たまねぎ等一部で入荷減が予想されている。入荷量は少なかった前年並で、価格についても前年並の見込み。							
だいこん	19年	9,415	79	67	89	81	北海道 48%
	20年	9,774	65	72	58	65	青森 44%
	21年	9,226	78	87	74	74	岩手 4%
	22年	8,799	90	81	103	86	群馬 2%
	23年	8,212	93	95	89	95	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	9,085	80	80	82	80	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し	8,500	90	85	90	95		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
青森に加えて、北海道が本格出荷する。北海道は播種期の天候不順の影響等から遅れ気味の傾向も回復しつつある。青森は現況、天候変動に伴う入荷不安定状態も解消され平年並の出荷が期待できる。入荷量は少なかった前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。							
にんじん	19年	7,300	106	106	101	111	青森 51%
	20年	7,212	115	149	104	87	千葉 23%
	21年	5,909	137	118	140	152	北海道 20%
	22年	5,514	181	170	184	189	中国 3%
	23年	6,145	111	118	104	112	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	6,416	128	131	124	127	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し	5,500	135	135	135	135		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
千葉に加えて、青森、北海道からの入荷が増える。青森は寒さの影響から平年より3週間遅れの定植であるが遅れを取り戻しつつある。しかし入荷開始は遅れる。北海道も同様の傾向。千葉も少ない。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	19年	2,612	73	63	70	85	長野 93% 群馬 7% 茨城 0% 愛知 0%
	20年	2,234	78	97	69	68	
	21年	1,810	68	59	72	74	
	22年	1,956	63	51	72	70	
	23年	1,919	58	67	57	60	
	5カ年平均	2,106	69	68	68	72	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し	1,900	60	60	60	60		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は長野中心。残りは群馬がほとんど。両産地ともに作柄は良好で、大玉傾向にある。夏場は漬物等の加工品が増加する見込み 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや上回る見込み。							
キャベツ	19年	3,894	104	92	112	107	群馬 47% 長野 32% 茨城 12%
	20年	3,978	71	79	68	68	
	21年	3,853	69	71	68	67	
	22年	3,792	89	77	100	91	
	23年	4,096	95	117	101	75	
	5カ年平均	3,923	86	88	90	81	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し	3,900	80	90	90	80		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は群馬、長野中心。群馬は生育良好で長野は生育が遅れている。6月の出荷が遅れた分が7月に入ってくる。群馬は7月中旬に出荷ピークを迎え、その後の販売は厳しくなる見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							
ほうれんそう	19年	268	695	650	717	719	岐阜 85% 長野 5% 群馬 5% 愛知 2%
	20年	248	583	627	584	533	
	21年	274	571	520	572	622	
	22年	202	719	636	771	777	
	23年	193	687	684	695	689	
	5カ年平均	237	646	618	661	663	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し	230	620	530	665	665		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は岐阜高山中心。他産地としては、長野、群馬、北海道があるが、出荷量に大きな差がある。雨や高温、台風などの影響により品質にばらつきが見られる。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							

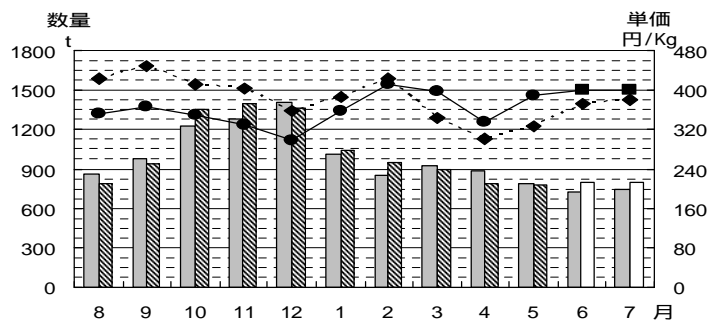
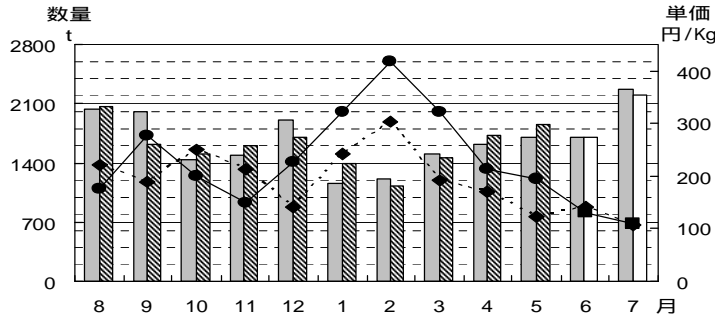
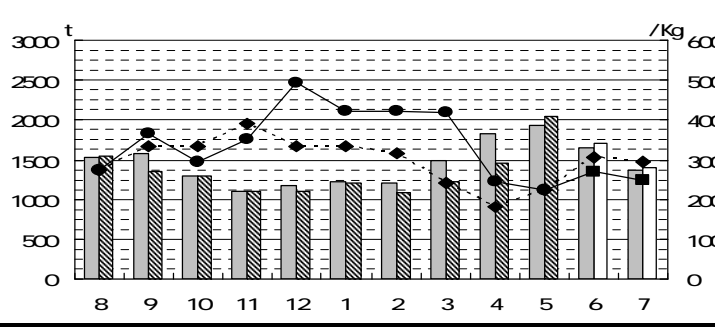
東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	19年	6,644	60	50	58	73	長野 85%
	20年	6,322	60	85	49	49	群馬 11%
	21年	5,759	53	47	53	59	茨城 3%
	22年	6,024	59	49	64	65	北海道 1%
	23年	6,005	58	64	56	56	(愛知産比率 -%)
	5カ年平均	6,151	58	59	56	60	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	6,000	55	55	55		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>数量 (トン) と単価 (円/kg) の推移。数量は8月～12月、1月～7月で示されています。単価は8月～7月で示されています。</p>				
<p>長野からの入荷が中心に群馬も入荷する。両産地とも春先等の寒さの影響で遅れも心配されたが、解消し生育状態は順調で潤沢な出荷が見込まれる。しかし、安値が続くと、出荷調整も想定される。入荷量は前年並となり、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							
キャベツ	19年	15,284	88	74	96	93	群馬 62%
	20年	15,159	62	65	60	60	岩手 13%
	21年	16,628	62	66	61	61	茨城 7%
	22年	17,760	84	69	91	91	長野 5%
	23年	14,130	92	106	98	76	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	15,792	77	76	81	76	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	15,000	80	70	80	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>数量 (トン) と単価 (円/kg) の推移。数量は8月～12月、1月～7月で示されています。単価は8月～7月で示されています。</p>				
<p>群馬、岩手からの入荷が中心となる。主力の群馬は作付増もあり生育環境も良好で推移している。岩手も春先の播種、定植遅れも取り戻し生育は概ね順調。7月にはいると生産者も出揃う。入荷量は前年をかなり上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>							
ほうれんそう	19年	1,049	618	543	677	640	栃木 29%
	20年	1,189	482	463	474	513	茨城 25%
	21年	1,246	498	488	514	497	群馬 15%
	22年	946	651	547	725	728	岩手 13%
	23年	910	587	548	565	667	(愛知産比率 -%)
	5カ年平均	1,068	560	518	591	609	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	960	560	510	560	610	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>数量 (トン) と単価 (円/kg) の推移。数量は8月～12月、1月～7月で示されています。単価は8月～7月で示されています。</p>				
<p>岩手と関東高冷地からの入荷が中心となる。各産地とも、現況。一時的な低温で少なめの入荷量で推移しているものの、回復傾向にあり順調な出荷が期待できる。入荷量は、前年をやや上回り、価格は前年やや下回る見込み。</p>							

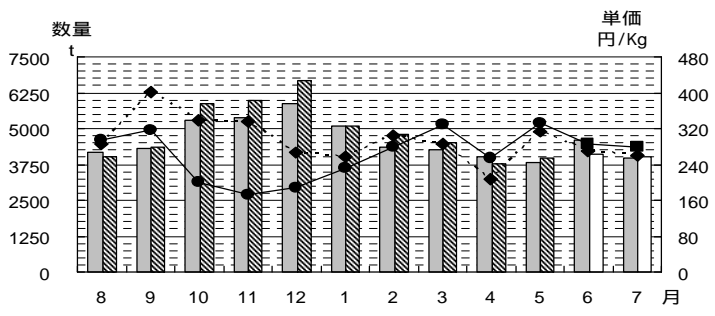
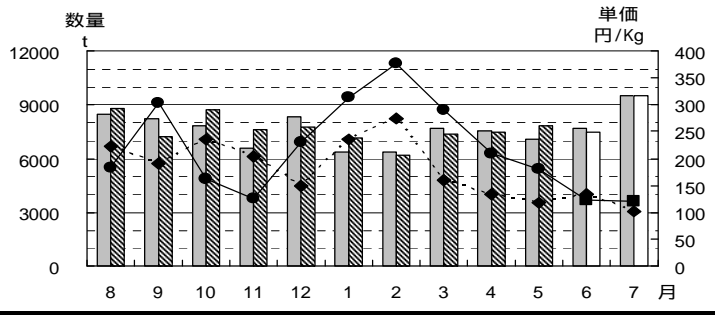
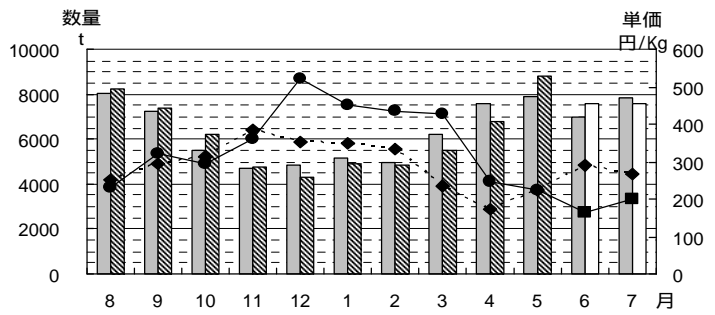
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	19年	760	440	352	513	473	愛知 30%
	20年	865	375	359	391	376	大分 17%
	21年	897	384	390	385	379	茨城 10%
	22年	843	433	392	486	434	北海道 7%
	23年	746	382	374	415	389	
	5カ年平均	822	402	374	436	409	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	800	400	380	400	420	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は愛知中心。他には大分、茨城、北海道が主な産地である見込み。愛知は例年並みの入荷量がある。大分、茨城も順調な入荷が続いている。北海道も生育良好であり、例年並みの入荷量がある見込み。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をやや上回る見込み。					
レタ	19年	2,209	170	115	153	242	長野 100%
	20年	2,255	106	118	115	90	愛知 0%
	21年	2,111	108	86	117	118	静岡 0%
	22年	2,108	144	118	123	186	0 0%
	23年	2,275	106	121	113	109	
	5カ年平均	2,192	127	112	124	148	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	2,200	110	120	110	100	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は長野のみ。準高冷地で、6月中旬から入荷量は減少し、南佐久地域がピークを迎える。生育は順調であり、L玉中心の出荷の見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。					
きゅう	19年	1,434	322	311	338	322	長野 52%
	20年	1,614	195	236	200	153	北海道 10%
	21年	1,287	235	207	245	255	埼玉 9%
	22年	1,540	236	266	263	191	岩手 8%
	23年	1,359	296	318	291	283	
	5カ年平均	1,447	255	268	266	237	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	1,400	250	280	260	200	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は長野、北海道中心。東北、北海道からの入荷が増える見込み。長野産は夏秋タイプの増量見込み。愛知産は7月上旬で終了。消費拡大時期なので、荷動きが良くなる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	19年	4,031	315	277	349	321	茨城 64%
	20年	4,348	253	292	250	219	千葉 14%
	21年	4,132	338	360	356	306	中国 8%
	22年	3,902	337	312	403	307	埼玉 6%
	23年	3,993	260	259	272	251	(愛知産比率 -%)
	5カ年平均	4,081	300	300	326	281	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	4,000	280	30	280	260	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
茨城からの入荷が中心となる。茨城は5、6月の低温で伸びを欠いていたものここにきて回復し生育は順調である。千葉は生育遅れ、病害の発生も見られず生育は順調。 入荷量は前年並が込まれ、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。							
レタ	19年	8,242	164	107	145	236	長野 86%
	20年	8,982	100	106	104	92	群馬 10%
	21年	9,016	104	89	110	111	岩手 2%
	22年	8,495	145	110	128	189	茨城 1%
	23年	9,501	103	110	102	96	(愛知産比率 -%)
	5カ年平均	8,847	122	104	118	145	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	9,500	120	130	120	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
長野からの入荷が中心となる。長野の生育は気象変動が影響が大きく、作型間での生育にばらつきが見られるものの概ね順調、群馬も低温による影響で遅れていたが回復し概ね順調。 入荷量は前年並みで、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。							
きゅうり	19年	7,085	307	336	301	290	福島 40%
	20年	8,468	168	227	162	126	岩手 14%
	21年	7,805	214	193	221	226	秋田 10%
	22年	8,135	204	240	216	171	埼玉 7%
	23年	7,832	266	321	233	257	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	7,875	229	263	227	214	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	8,000	200	220	200	180	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
福島を始め、岩手、秋田、宮城等、東北産地からの入荷が中心になる。 東北産全般に、昨年の震災被害による作付減も解消され、生育状況も概ね順調である。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な	19年	970	335	258	286	427	愛知 30%
	20年	1,119	233	305	228	183	山梨 17%
	21年	1,035	230	197	249	252	群馬 14%
	22年	1,025	306	305	336	289	徳島 9%
	23年	1,081	315	327	309	319	
	5ヵ年平均	1,046	283	279	281	291	
す	24年見通し	1,050	310	305	320	290	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知、山梨、徳島が中心。冬春ものが終了し、夏秋ものが始まる。冬春ものの産地は愛知、熊本。夏秋ものは岐阜、関東の一部が中心で、若干遅れ気味。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並みの見込み。							
ト	19年	1,465	297	252	315	321	岐阜 32%
	20年	1,540	232	238	263	204	愛知 28%
	21年	1,486	276	245	283	296	北海道 16%
	22年	1,518	285	248	265	335	三重 5%
	23年	1,342	348	327	359	360	
	5ヵ年平均	1,470	286	260	295	301	
ト	24年見通し	1,400	300	280	320	300	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知中心。岐阜が7月から入荷量増加の見込み。今後夏秋ものに移行していく。入荷量は平年並みか。小玉傾向であり、24～28玉のM中心。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							
ミ	19年	285	556	533	562	570	北海道 44%
	20年	285	471	495	502	427	愛知 27%
	21年	300	520	484	503	567	茨城 7%
	22年	334	544	495	553	581	
	23年	292	715	78	756	745	
	5ヵ年平均	299	561	419	575	579	
マト	24年見通し	280	550	500	550	580	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は北海道、愛知が中心。北海道は生育順調だが、気温、天候が不安定のため、今後不安がある。愛知産の入荷量は徐々に減少していく見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。							

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	19年	3,990	362	283	438	380	群馬 25%
	20年	5,596	239	351	227	163	栃木 25%
	21年	4,958	266	288	283	240	茨城 23%
	22年	4,866	297	335	325	250	埼玉 7%
	23年	4,716	312	362	282	299	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	4,825	291	324	311	266	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	4,550	330	360	330	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>西南暖地が切り上がり、関東産地が入荷の中心となる。群馬では台風4号の降雨とそれ以降の天候不順の影響で露地ものを中心に少なめの出荷となる。栃木も同様の傾向。入荷量は前年をやや下回る見込みで、価格は前月をかなり上回る見込み。</p>					
ト マ ト	19年	7,818	273	232	299	288	青森 19%
	20年	9,424	228	257	240	197	栃木 12%
	21年	8,234	285	254	289	307	茨城 9%
	22年	8,292	282	245	268	328	福島 8%
	23年	8,002	340	331	320	371	(愛知産比率 5%)
	5ヵ年平均	8,354	280	264	283	298	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	7,900	280	290	280	270	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>東北産地の入荷が本格化してくる。青森は春先の生育遅れが回復傾向にあるが少なめの出荷予想。福島や関東産地も遅れがみられるが回復傾向で今後の天候次第であるが前年並の出荷が見込まれる。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は高値の前年を大幅に下回る見込み</p>					
ミ ニ ト マ ト	19年	1,046	511	478	511	540	茨城 22%
	20年	1,200	454	501	492	395	福島 18%
	21年	1,166	492	462	473	536	岩手 11%
	22年	1,176	511	461	483	582	愛知 10%
	23年	1,040	695	720	689	674	(愛知産比率 10%)
	5ヵ年平均	1,126	529	524	530	545	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	1,080	600	600	600	600	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>福島、岩手の東北産地からの入荷が増えてくる。東北産地の生育は春先からの低温の影響がまだ若干残っておりなかなか本格化してこない。本県産は平年並の出荷となるが中旬になると減少。 入荷量は少なかった前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	19年	460	359	269	364	486	茨城 46%
	20年	603	290	362	302	213	岩手 28%
	21年	507	299	301	286	310	北海道 9%
	22年	504	341	263	414	371	
	23年	426	450	466	442	483	(愛知産比率 0%)
マ	5カ年平均	500	342	330	357	361	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	500	320	300	350	320	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は茨城、岩手中心。岩手の北部は前年より低温であり、生育に遅れが生じている。7月に入ると岩手の生育は回復してくる見込み。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ばいしよ	19年	2,038	98	86	98	106	静岡 36%
	20年	1,904	130	147	141	106	長崎 29%
	21年	1,439	191	170	204	199	愛知 18%
	22年	1,556	185	201	204	154	
	23年	1,662	101	118	90	97	(愛知産比率 0%)
い	5カ年平均	1,720	137	141	143	129	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	1,600	100	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、静岡中心。九州から北へ産地は移行していく。静岡はM、Sの小玉中心の傾向。青森、北海道は低温のため生育が遅れている。青森は7月中旬、北海道は7月中旬～下旬より入荷が増加見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並みの見込み。</p>					
たまねぎ	19年	4,379	69	69	71	69	兵庫 67%
	20年	5,384	59	62	64	52	愛知 28%
	21年	4,193	97	98	110	90	佐賀 3%
	22年	4,004	92	96	86	94	岐阜 1%
	23年	3,412	64	63	64	67	
ね	5カ年平均	4,274	75	77	79	73	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	3,500	100	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は兵庫中心。7月の2週目より入荷量が増加する見込み。小玉傾向で、L中心の出荷。2Lは少ない見込み。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	19年	2,160	336	215	328	518	茨城 63%
	20年	2,468	227	239	200	154	岩手 21%
	21年	2,104	266	278	236	281	福島 6%
	22年	2,056	320	233	398	349	青森 5%
	23年	1,781	409	441	362	422	(愛知産比率 -%)
マ	5カ年平均	2,114	306	281	305	345	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	1,850	300	270	330	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>茨城、岩手からの入荷が中心となる。茨城は生育順調であるが、ここまでの安値基調により切り上がりが見込み。東北各県は葉たばこからの転作も見られ前年を上回る出荷が見込まれる。 入荷量は少なかった前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>							
白菜	19年	6,021	86	81	86	93	茨城 23%
	20年	5,254	132	146	133	112	静岡 22%
	21年	4,976	184	167	189	197	長崎 20%
	22年	5,858	174	183	185	156	千葉 18%
	23年	5,741	102	119	97	90	(愛知産比率 0%)
い	5カ年平均	5,570	135	139	138	130	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	5,750	100	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>関東産地からの入荷が中心に、静岡、長崎からの入荷となる。静岡は作柄順調で品質も良好、千葉は当初の遅れも回復し平年並となる。長崎は下旬に減少。 入荷量は前年並が見込まれる、価格は安値であった前年並と厳しい販売状況が見込まれる。</p>							
たまねぎ	19年	9,928	77	74	74	83	佐賀 42%
	20年	10,122	77	81	78	71	兵庫 21%
	21年	8,903	113	104	114	121	香川 13%
	22年	9,253	108	104	103	114	群馬 6%
	23年	8,728	68	71	66	68	(愛知産比率 3%)
ね	5カ年平均	9,387	88	87	87	91	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	7,900	120	120	120	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>佐賀、兵庫、香川の入荷が中心となる。ほとんどが貯蔵となるが、兵庫は若干減の予想、主力の佐賀は不作傾向で小玉発生が多くなっており少なめの出荷となる。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	19年	13,215	333	341	339	319	フィリピン 20%
	20年	12,035	347	350	360	334	愛知 16%
	21年	11,675	326	331	328	321	青森 7%
	22年	11,793	336	349	335	328	山梨 7%
	23年	10,410	364	380	371	348	
	5カ年平均	11,826	341	-	-	-	
	24年見通し	11,000	320	-	-	-	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、青森、山梨中心。低温、燃料費の高騰の影響が大きい。経費の高いものは入荷量が少なくなる見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
アールスメロン	19年	331	551	591	539	516	愛知 43%
	20年	309	614	628	625	584	静岡 41%
	21年	306	553	604	541	510	高知 12%
	22年	308	582	651	601	501	
	23年	252	677	797	719	651	
	5カ年平均	301	592	648	600	548	
	24年見通し	240	600	650	600	500	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、静岡が中心。生育は昨年と比べ悪い。昨年よりもM、L等の小玉傾向。 入荷量は前年をやや下回り、単価は前年をかなり下回る見込み。</p>					
すいか	19年	2,966	125	125	115	132	愛知 26%
	20年	2,762	172	138	160	204	石川 26%
	21年	2,823	137	133	132	142	長野 19%
	22年	3,079	157	167	149	162	山形 10%
	23年	2,548	196	209	212	182	
	5カ年平均	2,836	156	153	152	164	
	24年見通し	2,800	160	160	160	160	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、石川、長野中心。石川産が増加してくる見込み。全国的に生育は遅れ気味。これにより出荷にも遅れが生じる見込み。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	19年	41,488	329	359	345	291	山梨 16%
	20年	42,935	342	360	346	323	山形 13%
	21年	43,979	323	331	332	309	フィリピン 10%
	22年	43,187	338	356	352	314	千葉 9%
	23年	37,118	380	400	400	345	(愛知産比率 1%)
	5カ年平均	41,741	341	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	37,000	380	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>すいか類、もも、メロン類中心に入荷する。ももは山梨中心に入荷。春先の天候不順により生育が遅れたが、回復。すいかも定植が遅れて進んだが、回復し順調。露地メロンはいずれも平年より数日遅れているが、肥大、品質内容は上々ある。入荷量、価格ともに前年並みの見込み。</p>					
アーメロン	19年	866	582	620	542	580	静岡 56%
	20年	772	673	624	683	745	千葉 16%
	21年	750	590	639	576	538	高知 9%
	22年	746	603	690	603	492	茨城 5%
	23年	606	741	749	770	680	(愛知産比率 5%)
	5カ年平均	748	632	660	627	604	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	550	750	800	750	700	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>重油の高騰の影響で生産面積の減少が続いている。入荷の6割を占める静岡は、順調な生育で玉の肥大も良好。千葉はやや生育が遅れているものの順調で2L中心の傾向である。入荷量は前年をかなり下回るものの、価格は平年並みと見込まれる。</p>					
すいか	19年	13,895	127	131	125	125	千葉 21%
	20年	14,224	175	150	168	198	山形 20%
	21年	14,653	153	145	156	157	新潟 12%
	22年	15,467	173	176	166	174	神奈川 11%
	23年	12,092	217	215	250	188	(愛知産比率 1%)
	5カ年平均	14,066	168	162	171	168	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	12,500	185	180	205	155	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、茨城に加え、後半山形からの入荷が本格化する。千葉の生育は順調で、7月上まで出荷ピーク。山形も低温による定植遅れで4～5日の生育遅れであるがその後の生育・肥大は順調で下旬に本格入荷予定。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回ると見込まれる。</p>					

切花・鉢花の7月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 6月28日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実 績	19年	3,090	36	
		20年	2,841	39	
		21年	2,982	34	
		22年	1,882	66	
		23年	2,024	53	
	5ヶ年平均	2,564	43		
24年見通し	2,150	50			
概要	愛知、長野、三重等から入荷。遅れていた夏系の品種へ切り替わる。春先からの低温でボリューム不足であった白扇の品質も向上し、長野産も本格的に出荷となり、量的にも増加してくる。6月は品種の切り替えが上手いかず低迷した分、新盆需要に期待したい。				
小 ぎ	実 績	19年	2,409	23	
		20年	2,791	20	
		21年	2,924	20	
		22年	1,758	40	
		23年	1,843	32	
	5ヶ年平均	2,345	25		
24年見通し	2,000	30			
概要	愛知、長野、埼玉、兵庫、奈良等から入荷。春先から続く低温傾向で、丈が短く、ボリュームのない物も多いが、順次揃いもよくなり、長野産も後半から増えてくる。昨年と比べ涼しい環境で前進傾向が強くなると後半は厳しい展開も予想される。				
カー ネ ー シ ョ ン	実 績	19年	1,160	41	
		20年	1,172	36	
		21年	1,106	37	
		22年	1,183	39	
		23年	1,260	31	
	5ヶ年平均	1,176	37		
24年見通し	1,300	31			
概要	長野、北海道等から入荷。これまでの日照不足や低温により10日程遅れがあるが回復し、これから7月上旬から中旬にかけての一番花のピークを迎える。今年は昨年よりも出荷を前寄りにしているため、7月の一番花のピークは和らぐものの新盆需要はあまり大きくなく、価格的には苦しい展開が予想される。				
か す み 草	実 績	19年	182	57	
		20年	159	60	
		21年	184	52	
		22年	104	69	
		23年	111	70	
	5ヶ年平均	148	60		
24年見通し	120	60			
概要	長野、北海道、福島から入荷。ここ数年の流れから入荷はあまり多くなく、業務中心の動きで価格は安定。品種はアルタイル中心。				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	19年	516	133	
		20年	484	117	
		21年	462	124	
		22年	425	143	
		23年	468	125	
	5ヶ年平均	471	128		
24年見通し	490	125			
概要	新潟、岐阜中心にLA、オリエンタルは順調に入荷。数量は暖地の出荷が前半も残り、販売は苦しい。中旬以降は数量は減少するが、厳しい販売が予想される。鉄砲は愛媛、兵庫、長野から入荷。業務需要の動き次第でこちらも厳しい販売となろう。				
洋らん	実績	19年	358	94	
		20年	362	83	
		21年	372	77	
		22年	354	86	
		23年	375	85	
	5ヶ年平均	364	85		
24年見通し	395	85			
概要	愛知、静岡、鹿児島等に加え、輸入物が入荷。6月に引き続き、厳しい状況が予想される。気温が高くなって、品質により格差がはっきりして、全体的にはもちあい基調で取引されると予想される。				
ばら	実績	19年	908	50	
		20年	1,021	39	
		21年	1,024	44	
		22年	858	46	
		23年	810	44	
	5ヶ年平均	924	45		
24年見通し	900	44			
概要	愛知、岐阜、和歌山、山形、青森中心に入荷。三重が株休みの為、出荷がなくなり、出荷量は減少。夜冷も徐々に始まり、品質の体系は変化する。				
枝も	実績	19年	1,354	45	
		20年	1,554	43	
		21年	1,308	43	
		22年	1,751	40	
		23年	1,733	43	
	5ヶ年平均	1,540	43		
24年見通し	1,750	43			
概要	愛知、静岡、岐阜等から入荷。新芽も固まり、栽培物、山取り物が増加する。新盆需要も多少見込まれるが、総体では価格はあまり期待できない。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ア ン ス リ ウ ム	実 績	19年	29,918	1,250	
		20年	27,060	1,201	
		21年	29,520	1,032	
		22年	32,570	1,011	
		23年	24,971	1,034	
	5ヶ年平均		28,808	1,105	
	24年見通し		24,000	1,030	
概要	<p>入荷量は平年並みか。7～8号、10号鉢の引き合いは昨年より増加する見込みであるが、4号鉢は昨年同様、厳しそう。</p> <p>昨年7月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知県(99.2%)、2位三重県(0.4%)、3位滋賀県(0.3%)となっている</p>				
フ ア レ ノ ブ シ	実 績	19年	29,279	3,506	
		20年	28,731	3,091	
		21年	28,689	2,968	
		22年	30,131	2,819	
		23年	22,862	3,326	
	5ヶ年平均		27,938	3,133	
	24年見通し		25,000	3,300	
概要	<p>入荷量はやや増加か。大輪系は増加、小中輪系は横ばいか。中元シーズンに入ってくるので、単価面では期待。但し、夏場に向けて、生産者各位、出荷時の開花状況に留意してツボミ多めの出荷を依頼していく。</p> <p>昨年7月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知県(58.2%)、2位静岡県(6.8%)、3位山梨県(6.6%)となっている</p>				
バ ラ 及 び ミ ニ バ ラ	実 績	19年	4,158	114	
		20年	9,282	95	
		21年	10,026	108	
		22年	11,929	97	
		23年	11,201	69	
	5ヶ年平均		9,319	94	
	24年見通し		11,000	70	
概要	<p>気温の上昇に伴い、入荷量は減少か。</p> <p>この時期は、他の夏物商材におされる為、単価面では厳しそう。</p> <p>昨年7月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位岐阜県(50.9%)、2位山口県(20.3%)、3位愛媛県(16.2%)となっている</p>				

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
オンシジュウ	実績	19年	4,159	1,314	
		20年	3,054	944	
		21年	1,929	1,157	
		22年	1,756	1,238	
		23年	2,015	898	
	5ヶ年平均		2,583	1,128	
	24年見通し		1,700	1,200	
ウム	概要	<p>生産減少の為、入荷量はやや減少か。 単価面では厳しい予想。出荷面では春より物が良くなってくる為、良品に期待。但し気候が良いので満開に注意して頂きたい。 昨年7月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知県(43.5%)、2位長崎県(20.3%)、3位山梨県(18.7%)となっている</p>			
スパティフィラム	実績	19年	27,210	297	
		20年	19,443	249	
		21年	14,688	286	
		22年	14,642	256	
		23年	13,325	267	
	5ヶ年平均		17,862	273	
	24年見通し		13,000	260	
概要	<p>入荷量は、作付減少に伴い減少か。 単価面では、3号~4号サイズは例年並み、5号鉢以上は花の本数と関係なく厳しそう。 昨年7月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位三重県(52.0%)、2位愛知県(40.7%)、3位岐阜県(5.7%)となっている</p>				
ドラセナ類	実績	19年	55,894	696	
		20年	52,409	572	
		21年	36,704	544	
		22年	34,978	565	
		23年	29,975	696	
	5ヶ年平均		41,992	617	
	24年見通し		29,000	650	
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。コンシンネ、ユッカ、マッサンが中心となる。3号~7号がメインの入荷となり、大きいサイズの入荷は減少か。 昨年7月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知県(73.9%)、2位沖縄県(10.0%)、3位岐阜県(5.4%)となっている</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2012年)

1 輸入実績

品名	4月						4月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	89,880	105.9	8,295,055	113.1	92	106.9	361,375	84	32,493,231	86	90	103.5
トマト	406	249.2	143,462	266.5	353	106.9	1,407	175	496,267	188	353	107.7
たまねぎ	31,118	97.8	1,254,409	82.0	40	83.8	125,297	68	4,348,292	49	35	71.3
にんにく	1,765	124.5	206,603	59.6	117	47.9	6,791	98	736,740	45	108	46.0
ねぎ	4,324	105.0	642,538	189.2	149	180.1	17,671	82	2,173,557	119	123	144.6
ブロッコリー	4,975	160.0	757,001	136.1	152	85.1	18,114	142	2,679,654	117	148	82.8
結球キャベツ	6,282	144.7	282,815	195.1	45	134.8	24,318	119	876,378	127	36	107.0
にんじん・かぶ	9,365	98.4	508,434	105.0	54	106.7	17,671	44	1,394,480	70	79	157.8
ごぼう	4,652	129.7	302,813	72.2	65	55.6	16,468	91	899,145	48	55	52.2
えんどう	288	163.0	112,709	265.1	392	162.6	1,239	143	470,519	203	380	142.1
アスパラガス	1,603	150.3	698,273	132.1	436	87.9	9,554	125	3,952,092	110	414	88.1
まつたけ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
しいたけ	302	84.3	79,973	87.9	264	104.2	2,156	81	747,533	110	347	135.3
かぼちゃ	14,150	72.4	905,067	79.4	64	109.7	72,537	80	4,434,741	82	61	102.3
果実(生鮮・乾燥)	184,589	90.4	22,323,864	91.7	121	101.5	642,222	77	68,702,009	76	107	98.6
バナナ	95,851	92.4	6,831,762	90.4	71	97.8	348,775	77	21,817,542	74	63	95.7
パイナップル	14,169	112.2	861,520	117.3	61	104.6	50,389	86	2,901,861	86	58	100.4
レモン	2,705	64.5	282,073	65.5	104	101.5	15,430	83	1,702,320	86	110	103.2
オレンジ	15,885	104.4	1,569,640	108.9	99	104.3	52,959	90	4,953,344	89	94	99.2
グレープフルーツ	16,576	63.0	1,584,299	65.9	96	104.6	73,702	70	6,895,462	71	94	101.0
メロン	3,239	73.8	352,970	77.4	109	104.9	8,288	49	986,644	56	119	112.7
ぶどう	4,233	163.6	651,652	164.0	154	100.2	9,030	112	1,860,223	137	206	122.9
キウイ	8,346	65.1	2,947,896	72.5	353	111.4	9,499	36	3,163,290	39	333	105.6
いちご	2	235.0	1,505	172.2	640	73.3	60	377	43,393	341	718	90.6
切花(生鮮・乾燥)	2,905	105.5	2,346,451	111.4	808	105.6	15,048	93	11,255,568	95	748	102.7
鳥獣肉類	131,151	77.6	57,547,718	76.6	439	98.7	569,048	74	247,060,485	74	434	99.1
牛肉(くず肉含む)	37,270	77.5	16,685,811	82.3	448	106.2	152,016	72	63,335,949	71	417	99.8
豚肉(くず肉含む)	53,606	74.9	28,190,259	75.1	526	100.2	251,718	76	132,126,288	76	525	100.1
鶏肉	31,580	78.6	7,028,735	63.4	223	80.6	137,978	75	34,583,411	72	251	95.4
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	182,150	112.5	108,312,952	124.9	595	111.0	624,240	88	347,562,813	91	557	102.8
まぐろ類	17,380	110.9	16,041,468	106.1	923	95.6	73,341	89	65,980,695	87	900	97.3
さば・さんま・あじ・いわし	6,397	115.9	1,231,108	121.8	192	105.1	41,178	117	7,404,684	122	180	104.0

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	199	101.7	114,220	276.9	575	271.8	1,998	19	1,046,958	31	524	165.1
うんしゅうみかん	2	-	1,880	-	764	-	113	79	66,693	74	589	93.1
りんご	181	169.9	91,369	310.4	505	181.7	1,741	17	769,134	26	442	150.2
なし	2	-	728	-	470	-	10	48	4,690	54	464	112.6
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	215,428	123.8	-	-	-	-	812,554	86	-	-
緑茶	183	84.7	427,098	103.5	2,332	122.2	677	73	1,513,159	87	2,234	119.6

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 (全国 平成22年 = 100) (愛知県 平成22年 = 100)				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	23年12月	99.4	90.6	98.9	99.5	101.1
	24年 1月	99.6	106.3	113.5	99.9	103.2
	2月	99.8	107.1	118.7	99.7	101.4
	3月	100.3	108.2	117.9	99.7	101.8
	4月	100.4	105.5	104.5	99.1	101.9
愛 知 県	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	23年12月	99.3	92.3	98.6	100.0	103.1
	24年 1月	99.3	103.7	117.4	100.5	104.0
	2月	99.8	106.8	123.6	101.3	102.2
	3月	100.5	107.4	123.8	100.3	101.9
	4月	100.6	106.4	107.3	102.0	103.2

項目 年月		農業物価指数 (平成17年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	22年平均	101.9	93.9	115.0	119.4	99.8
	23年12月	102.3	99.3	109.9	135.2	99.4
	24年 1月	109.2	99.9	131.8	140.2	97.5
	2月	111.7	99.4	137.4	143.5	97.9
	3月	114.8	97.4	145.2	130.8	97.7
	4月	108.9	97.7	116.8	127.6	98.1

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種、「コシ加」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
22年平均	2,236	158	172	603	419	313	142	314	203	510	615	201	447
23年12月	2,053	118	128	565	401	286	113	356	224	687	665	183	447
24年 1月	2,058	211	152	705	625	280	150	302	216	721	651	182	531
2月	2,066	235	183	653	686	293	166	312	209	740	655	186	546
3月	2,039	210	247	743	696	310	207	345	226	752	754	162	558
4月	2,048	186	276	691	494	359	232	436	228	530	762	161	602
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(ロース)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg			100g	1 kg		100g	1 本			100g		
22年平均	604	312	382	143	254	682	603	162	166	326	223	752	479
23年12月	466	291	400	176	219	732	532	151	167	322	224	733	409
24年 1月	575	295	366	189	227	701	547	156	159	306	230	752	408
2月	645	293	381	195	217	821	536	161	168	322	231	763	399
3月	747	281	376	180	224	849	544	168	181	333	220	805	415
4月	247	351	142	216	903	554	153	179	315	230	830	404	

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる??

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 469
平成24年7月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6421